「自主、自立、自信」子供のやればできるの体験を支える学校づくり

いずかし

R７年9月５日
文責：校長

プール開き

お待たせしました！プールシーズン到来

全国的に危険な暑さの残暑が続いていますが、県内も例外ではなく、日中は35℃に迫る暑さがまだ続いています。そんな中ですが、今週は「プール開きの週」ということで各学年のプール開きを行い植柳小のプールで「初泳ぎ」を楽しみました。

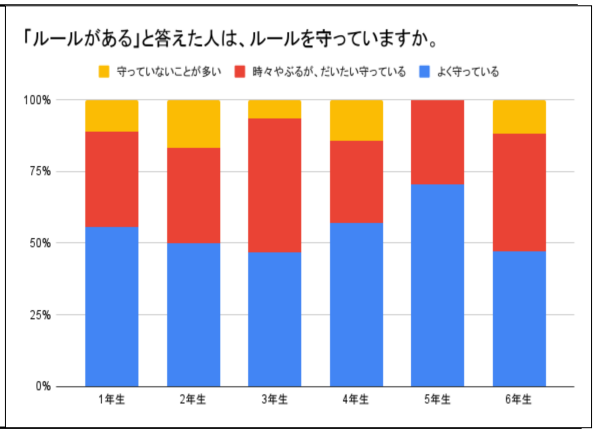
私は、２日（火）に６年生のプール開きを参観しました。６年生は夏休みを過ぎると、体格が一気に大きくなり中学生に近づいてきます。色褪せた水着が６年間の歴史を象徴すると同時に、少し窮屈にも見えました。プールの水深も、６年生にとっては去年よりずいぶん浅く感じていることと思います。

他の学年のプール開きは、晴天で気温もぐんぐん上がりました。足裏の皮が薄い子供たちにとっては、プールサイドの熱さが苦手です。常にプールサイドに散水しながらの準備運動でした。プールの水も外気温と変わらず、まるで「温水プール」。９月に水遊び・水泳指導の時期をずらしてもこの状態には正直驚いています。月間予報では９月はまだ厳しい残暑が続くようですが、各学年の目標を達成できるようしっかりと指導ができればと思います。

大喜びでプール開きをした６年生

ルールを守ることからはじめよう

右のグラフは、子供たちがスマホ等を使う場合、家庭内で「ルールがある」と答えた児童の中で守っているかどうかを示したグラフです。ご覧の通り、「守っていない事が多い」（目盛りの最上色）と回答した児童が５年生以外で10％程度見られます。家庭によってルールの内容は様々ですが、極端に言えば、「守っていない」状態は子供が好きなように（自由に）使っていると捉えることもできます。これからの時代、スマホを中心とするデジタルデバイスは不可欠です。しかし、制限なく使うことはこれからの子供の成長に少なからず影響が出てくると思います。この機会に、「親子で守れるルール」づくりをされ、お手本を示されるのもよいのではないでしょうか。きっと今までになかった時間を共有できると思います。



■家庭のルールの例
◎使用時間の制限
・勉強や食事中は使わない
◎使用場所の制限
・部屋に持ち込まない
◎ＳＮＳで悪口や誹謗中傷を書き込まない・面識のない人と会わない
◎アプリのインストールは親に相談する等

2学期のあいさつモンスターは手強いぞ

２学期が始まり一週間が経ちました。登校時間帯の南門での子供たちの様子はとても疲れているように見えます。あいさつは１学期を「10」とするなら「３」くらいでしょうか…。日が昇ると一気に30℃近くまで気温が上がるので無理もないかもしれませんが、相手に届く声であいさつができる人になってほしいと思います。

そこで、９月の生活目標は「進んであいさつをしよう」に変更しました。そして、１学期に取り組んだ「あいさつモンスターを倒そう（第２弾）」として学校全体であいさつ運動に取り組んでいます。廊下に掲示された白地抜きの文字をみんなで集めたシールを貼り、文字が浮かび上がったら作戦成功という内容ですが、まだ「つ」の文字に入ったところです。一学期は数日で完全にクリアできましたが、２学期のあいさつモンスターは手強くなかなか倒せないようです。

私は学生時代に恩師から、「あいさつと人付き合いがよければ食いっぱぐれしない」と教わったのが今でも記憶に残っています。当時は半信半疑でしたが、社会に出て、その教えの深い意味が分かってきました。学校の先生や親から大きな声でするように促されてあいさつしても、真に身についたことにはなりません。心を込めて丁寧にあいさつできる礼儀正しい子供に育つよう、今まで以上に私たち大人が子供の手本とならなければと感じています。

やっと「つ」の字に入った掲示